

2009どんぐりっ子あつまれ エコエネルギーで資源循環型の森づくり

内橋欣司（北はりま地域づくり応援団）

北はりま地域づくり応援団は、自然体験活動と環境学習活動場の推進を図る目的で、2005年4月に、北はりま冒険あそび場（どんぐりっ子の森）を開場し、5年の活動を展開してきました。2008年には、「ソーラーパネルで森に光を」プロジェクトを立上げ、NPO法人ワット神戸・県立三木北高等学校ECO-Pサークルと共に、どんぐりっ子の森にソーラーパネルを設置し、トイレ・集会場の照明設備を整備しました。2009年は、「エコエネルギーで資源循環型の森づくり」をキーワードに、間伐材を利用した体験活動、雨水等を利用した資源循環型の森づくりを展開しています。

（1）森に光を体験活動

「ソーラーパネルで森に光を」プロジェクトで集会場とトイレにあかりが灯る様になり、どんぐりっ子キャンプに参加する子ども達は、楽しい夜の一時を過ごせる様に成りました。各班ソーラーパネル付きランタンを使い、日中太陽の光を受けエネルギーを充電させ、ランタンでテントのあかりにしました。充電不足で、真っ暗に成る事もあり、エネルギーにも限りがある事を体験し、太陽エネルギーが自分達の生活にいかに必要であるかを体感しました。

（2）資源循環型の森づくり活動

森づくり活動により排出した間伐材等を利用して、自然体験活動・キャンプ等で薪・燃料として活用したり、又きのこ栽培をしたり、落葉、草等を利用し腐葉土をつくりました。今後、ギフチョウ等の貴重生物の生息環境を維持する為に、豊かな森づくりを展開して行きます。

（3）資源循環型の水システムの体験活動

雨水を集め簡易ろ過器を通して、炊事等に使用します。又、自然に負荷をかけないように排水は、簡易ろ過器を通して、水を綺麗にし自然に返します。

子ども達は、ペットボトルで簡易ろ過器を製作し、汚れた水が綺麗に成る事を体験しました。